

# 長岡市長記者会見要旨

日 時：令和3年6月21日（月）午後3時30分から

会 場：アオーレ長岡東棟4階 大会議室

## 【会見項目1：高齢者向け接種に続いて切れ目ないワクチン接種を実施 64歳以下の方への接種を7月1日から順次開始します】

（市長）

希望する高齢者へのワクチン接種を7月末までに完了できる見込みとなりましたので、高齢者向け接種と並行して、64歳以下の方への接種を7月1日から順次開始します。

接種を進めるにあたり、国が定めた優先接種者に加えて、長岡市独自の優先接種の基準を設けます。集団接種の予約をスムーズに行うため、60歳から64歳までの方から先に予約受付を行い、その後年齢層の高い順に段階的に始めます。

そして、希望するすべての方が、11月末までに、2回目の接種を完了できるよう関係機関と協力しながら進めていきたいと思っております。

項番1の64歳以下のワクチン接種の見込みについて説明します。12歳から64歳までの対象者が15万2,000人おり、そのうち接種を希望される方は80%に当たる12万1,600人と見込んでいます。個別接種と集団接種を併用し11月末までに希望者全員の接種完了を目指します。

項番2の接種区分ごとの接種開始時期について説明します。基礎疾患のある方や市独自の優先接種者などの接種区分ごとに予約と接種の開始時期を設定することで、優先順位の高い方から段階的に接種を進めます。なお、個別接種については、接種券が届き次第、7月1日から順次開始する見込みです。

項番3の対象者への接種券発送について説明します。12歳から64歳までの長岡市民の方を対象に、6月28日から接種券を一斉発送します。対象者が多いため、発送完了までおおむね10日間かかる見込んでいます。

項番4の国が定める優先接種者の接種方法について説明します。

64歳以下の基礎疾患がある方については、接種券が届き次第、原則、かかりつけの医療機関に相談して、接種予約をしてください。かかりつけの医療機関が個別接種を行っていないなどで、集団接種を希望する方は、7月14日までに市に「集団接種希望申出書」を提出いただくことで優先的に7月17日から接種予約を受け付けます。

また、高齢者施設等の従事者については、高齢者施設等での接種、または高齢者向け集団接種の空き枠を活用して優先的に接種します。

項番5の市独自の優先接種者の考え方と接種方法について説明します。主な対象者として、まずワクチン接種を受けられない子どもたちと触れ合う機会が多い、保育園等に勤務する職員や、小中学校、総合支援学校の教職員等を市独自の優先接種者としました。さらに、感染時の重症化リスクが高い高齢者と接する機会が多い民生委員、新型コロナウイルス対策や災害対応等に当たる市の危機管理に携わる幹部職員についても優先接種者としました。そのほかに、インフラ関連、市民協働・市民生活関連などの職種の方を優先接種者とし、高齢者向け集団接種の空き枠などを見ながら、優先度に応じて接種を進めていきます。

項番6の一般の方の接種方法について説明します。

まず、個別接種については、接種券が届き次第、かかりつけの医療機関に相談のうえ、接種予約ができます。かかりつけの医療機関で個別接種を行っていないなどの場合は、集団接種を受けていただきます。なお、各医療機関では現在、通常診療と並行して、高齢者向け個別接種に全力で取り組んでいただいています。かかりつけ以外の医療機関への電話での問い合わせは、できるだけ控えていただくようお願いします。

次に、集団接種については、年齢層の高い順に5歳ごとに区切り、段階的に予約受付を開始することでスムーズに進めたいと考えています。接種会場については、現在8会場での開催を予定していますが、そのほかに支所地域でも開催できるよう調整を進めています。

このほか、職域接種が進むことによって市民全体の接種が加速していくことを期待しています。

(記者)

64歳以下の方の接種見込み率を80.0%としたのは、高齢者向け接種において当初想定していた76.8%より高い81.8%の予約率となったことが影響していますか。

(市長)

はい。おそらく64歳以下の方は、高齢者よりも低い接種率になると思っていますが、高齢者向け接種の実績を考慮した上で、少し余裕をもって80.0%と見込みました。

(記者)

接種希望者が個別に予約するのではなく、職域接種のように企業と連携して接種するということは難しいのでしょうか。

(市長)

職域接種は1,000人以上を対象として国が直接、申し込みを受ける形となっていますので、市としては利用することができません。

ただし、1,000人以下の企業もたくさんありますので、そういった企業などを対象に商工会議所や商工会と協力しながら、市の接種会場や県の大規模接種会場で職域接種が可能なのか検討したいと思っています。

**(記者)**

個別接種における、かかりつけの医療機関の定義を教えてください。

**(市長)**

はっきりとした定義はありませんが、接種にあたってアドバイスができるのは、継続的に治療で通っている医療機関が適していると思います。特に基礎疾患がある方は、まず治療をしている医療機関に相談していただきたいと思っています。

**(記者)**

ワクチンの供給見込みを教えてください。

**(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)**

ファイザー社製のワクチンについて、7月末の配送分まで国から通知が届いています。8月以降の配送の通知は届いていませんので、早期に配送スケジュールを示すよう県を通じて国に要望しているところです。64歳以下の方への接種を含めて11月末までに接種を完了するためには、現在示されている7月末までの供給と同様のペースでワクチンが供給される必要があります。

**(記者)**

これまで集団接種の予約受付の開始時に、電話やインターネットのアクセスが集中し、なかなか通じないということがありましたが、64歳以下の方については、年齢を5歳ごとに区切って受け付けることで回避するというのでしょうか。

**(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)**

はい。6月1日、10日に比較的規模の大きい高齢者向け集団接種の予約を開始しましたが、その際も午前中は混みましたが、午後は混まなかったという実績があります。今回、5歳ごとに区切ることで、それよりも少ない対象者数になりますので、混雑を回避できると考えています。

**(記者)**

59歳以下の方の集団接種の予約受付開始日程は、いつ示されますか。

**(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)**

現在、最終調整をしており、7月1日発行の市政だより7月号で年齢層別の集団接種の予約受付開始日程や接種会場を案内させていただきたいと思っています。

**(記者)**

6月28日に発送する接種券には、集団接種の年齢層別の予約受付日程などの情報は入っていないのですか。

**(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)**

接種券に同封するチラシには、59歳以下の方の年齢層ごとの予約受付日程などの詳細は、市政だよりや市ホームページでお知らせする旨記載しています。

なお、そのチラシの中で、基礎疾患のある方の予約受付開始を7月26日と記載していますが、チラシ印刷後に日程の前倒しが可能になりまして、本日の記者会見資料のとおり7月17日から予約受付を開始します。チラシに記載した日付については、市政だより7月号でも訂正させていただきます。

**(記者)**

若い世代では、かかりつけ医がないことが多いと思いますが、かかりつけ医以外でも個別接種ができる医療機関はありますか。

**(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)**

高齢者向けの個別接種でもかかりつけ以外の方の接種を実施いただいている医療機関があります。現在、64歳以下の方の接種についても、各医療機関に意向調査を行っており、結果がまとまり次第、市政だよりや市ホームページでお知らせします。

**(記者)**

県が設置する大規模接種会場について、長岡市内における設置場所は決まっているのでしょうか。

**(市長)**

今後、県から発表されるものと思います。

**(記者)**

県の大規模接種会場は、64歳以下の方も予約できるのでしょうか。

**(市長)**

高齢者のほか、64歳以下の基礎疾患がある方などの優先接種者が対象となる予定です。

## **【会見項目2：接種計画に沿って接種は順調に進捗**

**高齢者向け接種は7月末の完了を見込んでいます】**

**(市長)**

長岡市医師会や市内医療機関と連携して、接種会場を順次拡大してきました。これにより、7月末には希望するすべての高齢者への接種が完了できる見込みです。

接種状況としては、高齢者数8万6,726人に対して、6月18日時点の予約者数は7万973人で、予約率は81.8%となっています。当初想定していた接種率76.8%を上回っており、希望するすべての高齢者からワクチン接種を受けていただくめどが立ったと考えています。

接種者数は6月20日現在で、1回目の接種をした方が4万1,215人で接種率47.5%、2回目の接種を完了した方が5,197人で接種率6.0%です。

今後、64歳以下の方への接種を段階的に進めていきますが、高齢者の方が接種できなくなるということではありませんので、引き続き、希望する高齢者の方は接種を予約いただきたいと思います。

また、ワクチン接種をしたくても予約できずにいる方もいると思います。各地域の民生委員等を通じて実態の把握に努め、希望するすべての方が接種できるよう取り組んでいきたいと考えています。訪問接種や、会場までお連れしての接種など、必要な手段について具体的に計画を作っていきたいと思っています。

**(記者)**

かかりつけ医に接種希望者が個別に接種予約を行うことで、全国では申し込みが殺到して他の診療ができなかったという事例がありましたが、長岡市では同様の事例は発生していませんか。また、今後の64歳以下の方の個別接種の予約開始にあたり危機感はないでしょうか。

**(新型コロナウイルスワクチン接種事業担当部長)**

高齢者向け接種の予約開始の際に、個別接種を行っている医療機関で同様の事例が少しあったと聞いています。今後の64歳以下の方の個別接種についても、集団接種のように予約システムを使った受付制限などはできませんので、医療機関の皆様には同様のご苦勞をお掛けすることもあるかもしれません。

## **【その他の項目】**

**(記者)**

首都圏などで緊急事態宣言が解除されましたが、長岡市周辺を含め、市長は今の新型コロナウイルス感染状況をどのように捉えていますか。

**(市長)**

長岡市に県の特別警報が発令されていた時期から比べると、現在、県内は安全な状況になっていると思っています。しかし、県は新規感染者のすべてが感染力の強い変異株だったと発表していることから、少しの緩みで次の山ができてしまうと感じています。この山を作らないように感染防止に取り組んでいきます。

(記者)

県内や市内で感染が拡大した場合、県境をまたいだ不要不急の移動は控えるように呼び掛けることになると思いますが、これから始まるオリンピック・パラリンピックの観戦は不要不急の移動にあたりと考えていますか。

(市長)

開催地の感染状況によると思います。開催地に緊急事態宣言が発令されるような状況では、感染拡大防止のため、県境をまたぐ移動は控えていただくよう呼び掛けることになると思います。

(記者)

第四北越フィナンシャルグループの本店移転について、市長は長岡商工会議所の会頭と一緒に再考を促されましたが、第四北越フィナンシャルグループから回答はありましたか。

(市長)

回答はありません。

(記者)

6月25日に第四北越フィナンシャルグループの株主総会があります。市も株主だと思いますが、どのような意思表示をするかお考えでしょうか。

(市長)

第四銀行と北越銀行の合併が対等の精神で行われる事のシンボルが、長岡市に本店を置くということで説明を受けてきましたので、それに反するということはしっかり申し上げたいと考えています。移転の議案はノーで意思表示したいと思います。

(記者)

本店が移転することで、市税への影響はありますか。

(市長)

税情報について具体的な数字を言及することはできませんが、住所移転よりも従業員数等の変化により、何らかの影響があると思っています。

(記者)

第四北越銀行は、米百俵プレイス（仮称）を構成する一つの大きな柱だと思いますが、移転による影響はありますか。

(市長)

影響はありません。第四北越銀行と、長岡市の経済界がしっかり手を組んで協力しながら、長岡の発展、中越の発展に向けて頑張っていきたいと思っています。

(記者)

長岡まつり大花火大会の代替をどのような形で開催するかお聞かせください。

**(長岡花火財団理事長)**

8月1日、2日、3日の花火の実施方法については、現在、長岡花火財団で検討を続けています。昨年の実施内容をベースに、市内複数カ所に分散して打ち上げることができないか検討しています。スポンサーや関連行事を行う関係団体とも相談して、可能な限り早い時期に説明できるよう準備を進めていきます。